

## 多摩病院 令和5年度の主な取組内容

### 1 取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

「①救急医療（初期・二次）の安定的な提供」につきましては、救急車搬送件数は、令和4年度目標値とした5,000件には至らないものの、現状ですでに令和3年度実績値を上回るペースで推移しております。ポストコロナとなる令和5年度は、ベッドコントロール事務職員が転院調整業務へ積極的に介入することにより、目標である376床フルオープンに向けた体制整備を進め、病床不足をお断りの要因としない環境づくりを進め、救急患者の受け入れを推進してまいります。次に「③パンデミック発生時の体制整備」につきましては、DICTの資格を持つ長島病院長が代表を務めております「KAWASAKI地域感染制御協議会」の訓練として、市内で新興・再興感染症が集団発生したことを想定した、机上での感染対策合同訓練を多摩病院で行なっております。川崎市北部の4つの医療機関に加え、多摩区をはじめとする3つの保健所、川崎市健康安全研究所職員ら計約40名が参加し、各医療機関が架空のクリニック、または総合病院の役割を担当。なんらかの症状を呈する患者が受診したことを想定し、各施設や行政との連携を確認し、課題を抽出しました。なお、この訓練は、川崎市医師会会員の開業医52名の方々もオンラインで視聴されております。

・・・【取組進捗状況管理シート 2ページに記載】

### 2 取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充

「①集学的治療の推進」につきまして、それぞれの治療方法が粛々と進められているところですが、令和5年度につきましては、特に化学療法について、件数の増加のみならず治療スペースの環境改善へ向けた取り組みも含めまして、がん診療体制の整備をさらに進めてまいります。また、「②緩和ケア医療の推進」につきましては、昨年5月に緩和ケア病棟として12床を設置いたしまして、緩和ケアチーム活動の充実とともに9月より緩和ケア病棟入院基本料の算定を開始しております。令和5年度は、常勤の専従医師を確保するとともに、緩和ケア病棟の運営を軌道に乗せ、強化してまいります。

・・・【取組進捗状況管理シート 2ページに記載】

### 3 取組項目(4) 医療安全の確保・拡充

「②院内感染対策の推進」についてでございますが、多摩病院は「ポストコロナ下での質の高い地域医療の提供」を令和5年度の目標としておりまして、この目標達成に向けて、院内ゼロコロナの確保を目指して感染管理の資格を持つスタッフの1名増とともに、病院職員の日々の発熱チェックの継続、および感染制御チームによる活動を進め、全職員の感染対策の継続的な知識向上、実践行動の強化に向け取り組んでまいります。

・・・【取組進捗状況管理シート 3ページに記載】

## 施策1 医療機能の充実・強化

取組項目	取組目標名	R3年度実績値(参考)	R4年度目標値	R4年度年間想定値	R5年度目標値	令和5年度の主な取組内容
<b>取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化</b>						
①救急医療 (初期・二次)の安定的な提供	救急車搬送件数	4,147件	5,000件	4,376件	5,000件	①救急車搬送件数の確保 ②初期、後期研修医による救急診療の質の向上
	救急研修・教育	実施 (ICLSなど)	実施 (症候レクチャー)	実施	実施 (症候レクチャー)	
	小児輪番病院への参加	参加	参加	参加	参加	
②災害医療機能の維持	日本DMAT資格保持者人数	9名	10名	9名	10名	①災害派遣医療チームの隊員の増員 ②災害訓練の実施 ③備蓄品(食料、飲料水、医薬品)の適切な補充・交換
	災害訓練の実施	実施	実施	実施	実施	
	3日以上以上の備蓄品(食料、飲料水、医薬品)の確保と適切な補充・交換	実施	実施	実施	実施	
③パンデミック発生時の体制整備	DICTの育成人数	0名	1名	1名	1名	①災害時感染制御支援チーム(DICT)の育成 ②シミュレーション訓練の実施 ③バックアップ人員の確保を含めた施設の整備
	シミュレーション訓練	計画	実施	実施	実施	
<b>取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充</b>						
①集学的治療の推進	化学療法の件数(抗がん剤混合調整業務における外来1抗悪性腫瘍剤の延べ患者数)	1,617人	1,900人	1,968人	1,900人	①化学療法の積極的な実施 ②消化器早期がんに対する低侵襲治療(特に内視鏡的粘膜切除)の技術向上による積極的な実施 ③肝がんに対する集学的治療(肝切除、局所治療、カテーテル治療、全身化学療法)の推進 ④消化器がんを中心とした手術の積極的な実施 ⑤「地域がん登録」、「全国がん登録」への参加
	消化器早期がんに対する低侵襲治療件数	21件	10件	10件	15件	
	肝がんに対する集学的治療件数	61件	30件	66件	35件	
	消化器がんを中心とした手術の積極的な実施件数	369件	600件	386件	600件	
	「地域がん登録」、「全国がん登録」への登録件数	589件	652件	660件	654件	
②緩和ケア医療の推進	緩和ケア診療加算の算定件数(算定可能な精神科医師が着任次第)	0件	42件	33件	43件	①緩和ケア研修会受講済の医師(身体・精神)の安定的な確保 ②緩和ケアチームの活動の拡充 ③地域の医療従事者を対象とした緩和ケア研修会の実施 ④緩和ケア病棟の <b>運営強化</b>
	緩和ケアチーム介入患者数	0人	51人	60人	52人	
	緩和ケア研修会の実施回数	0回	2回	2回	2回	
③がん相談体制等の充実	がん相談支援センター等の設置	検討	検討	検討	検討	①がん相談支援センター(がん相談専門員)等の設置へ向けた検討

## 施策1 医療機能の充実・強化

取組項目	取組目標名	R3年度実績値(参考)	R4年度目標値	R4年度年間想定値	R5年度目標値	令和5年度の主な取組内容
<b>取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実</b>						
①チーム医療の推進	栄養サポートチーム回診延べ患者数	0人	250人	450人	300人	① <b>栄養サポートチーム</b> による入院期間延長の改善、短縮 ②緩和ケアチームによるがん患者・非がん患者、家族の全人的苦痛緩和の実施 ③認知症ケアチームによる認知症ケア及びせん妄ケア対応の推進（薬剤の適正使用を重視した薬物療法・多職種協働による非薬物療法の強化・退院支援の強化）、及び <b>認知症疾患医療センターとしての指定申請</b> ④褥瘡対策チームによる褥瘡（床ずれ）の防止等 ⑤摂食嚥下チームによる誤嚥防止 ⑥専門資格の取得支援
	緩和ケアチームによる症状緩和実施患者数	0人	51人	20人	53人	
	認知症ケア加算1の算定	実施	実施	実施	実施	
	認知症ケアチームの回診（週2回）対応患者数	135人	120人	152人	120人	
②高度・専門医療の展開	アブレーション実施件数	36件	100件	56件	110件	①循環器内科でのアブレーションを含めたインターベンションの拡充 ②脳神経外科による脳卒中急性期医療の整備 ③消化器・一般外科での手術支援ロボットを用いた手術の展開 ④泌尿器科での前立腺がん疑いに対するトリニティを用いた経会陰的前立腺針生検により、前立腺がん検出率を向上させ、前立腺がん患者に対して手術支援ロボットを用いた前立腺全摘手術を展開 ⑤ISO15189の認定と評価に基づく実践 ⑥末梢血幹細胞移植の環境整備 ⑦角膜移植の実施及び眼科外来の環境整備
	脳神経外科カテーテル手術件数	32件	36件	20件	36件	
	直腸がん手術件数	53件	30件	48件	30件	
	前立腺針生検件数	107件	96件	112件	108件	
	前立腺がん手術件数	19件	24件	24件	24件	
<b>取組項目(4) 医療安全の確保・拡充</b>						
①医療安全の強化	医療事故の防止及び迅速な対応（参考：事故報告件数）	実施	実施	実施	実施	①医療事故の防止、及び事故発生時の迅速な対応 ②医療安全対策に係る研修を受けた専門看護師配置の継続と薬剤師の配置に向けた検討
	医療安全対策に係る研修を受けた専門看護師等の配置（届出）	実施	実施	実施	実施	
②院内感染対策の推進	感染管理の資格を持つスタッフの確保人数	7名	7名	11名	9名	①感染管理の資格を有するスタッフ（医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師）の増員と配置 ②全職員の感染対策に関する知識・実践行動の強化 ③感染制御チームによる活動の推進
	全職員の感染対策に関する知識・実践行動の強化	実施	実施	実施	実施	
	感染制御チームによる活動の推進	実施	実施	実施	実施	

## 施策2 地域完結型医療の推進

取組項目	取組目標名	R3年度 実績値(参考)	R4年度目標値	R4年度 年間想定値	R5年度目標値	令和5年度の主な取組内容
<b>取組項目 医療機能の分化・連携と地域包括ケアシステムの推進</b>						
①地域医療支援病院の運営と強化	登録紹介医制度の推進	実施	実施	実施	実施	①登録紹介医制度の推進 ②検査機器等の共同利用の推進
	検査機器等の共同利用の推進	実施	実施	実施	実施	
②地域包括ケアシステムの推進	「病院と在宅ケアネットワーク会」の充実	実施	実施	実施	実施	①「病院と在宅ケアネットワークの会」の充実 ②地域医師会との懇談会の定期開催 ③登録紹介医施設への訪問活動
	登録紹介医との懇談会の定期開催	実施	実施	実施	実施	
	登録紹介医施設への訪問活動	実施	実施	実施	実施	

## 施策3 効果的・効率的な運営体制づくり

取組項目	取組目標名	R3年度実績値(参考)	R4年度目標値	R4年度年間想定値	R5年度目標値	令和5年度の主な取組内容
<b>取組項目(1) 人材の確保・育成の推進</b>						
①医療従事者の安定的な確保	基幹型臨床研修医の受入人数	21名	22名	22名	22名	①質の高い医療・看護の安定的な提供や医療機能の強化、働き方改革を踏まえた適正な人員配置等に向けた医療従事者確保の取組を推進 ②病院実習生の受入れ ③病院見学 ④インターンシップの受入れ
	内科専門医プログラムの受入人数	5名	3名	2名	3名	
	総合診療専門医プログラムの受入人数	2名	6名	3名	6名	
	新・家庭医療専門医プログラムの受入人数	5名	6名	3名	6名	
	医学生・看護学生等の実習受入人数	238名	230名	410名	230名	
	看護学生等の実習校数	11校	9校	16校	11校	
	看護学生等の実習数	24実習	9実習	30実習	26実習	
	インターンシップ受入人数	74人	180人	146人	200人	
病院見学人数	21人	50人	20人	60人		
②職員の専門能力の向上	臨床研修指導医数	50名	53名	50名	53名	①提供する医療・看護の質の向上を図るため、臨床研修指導医・専門資格取得・研修受講の促進 ②認定看護師資格取得の推進 ③特定行為研修受講の推進 ④診療情報管理士の安定的な確保
	認定看護師数	11名	12名	10名	13名	
	特定行為研修修了者数	1名	4名	4名	6名	
	診療情報管理士数	7名	10名	7名	10名	
③学術活動への積極的参加	原著論文数	124件	45件	45件	45件	①学会、及び論文発表等の取組を推進 ②治験協力を推進
	症例報告論文数	15件	20件	20件	20件	
	学会・研究会発表数	307件	150件	150件	150件	
	治験・市販後調査実施数	3件	13件	10件	13件	
	競争的研究資金獲得数	3件	6件	6件	6件	

## 施策3 効果的・効率的な運営体制づくり

取組項目	取組目標名	R3年度 実績値(参考)	R4年度目標値	R4年度 年間想定値	R5年度目標値	令和5年度の主な取組内容
<b>取組項目(2) 働き方・仕事の進め方改革の推進</b>						
①働きやすい 職場づくり	医師事務作業補助者数	18名	20名	18名	22名	①医師事務作業補助者の確保・充実 ②看護助手の増員(日勤・夜勤) ③入退院支援業務の拡充 ④NP(Nurse Practitioner)の増員 ⑤業務のイノベーション(リモートワーク・時差出勤) ⑥デジタル化(RPA(Robotic Process Automation))の推進
	看護補助者人数	68名	78名	78名	89名	
	看護補助者人数のうち、夜勤従事者数	8名	11名	11名	14名	
	NPの人数	4名	4名	3名	5名	
②タスクシフトの推進	入院時入退院支援センター介入件数	1,998件	2,000件	2,204件	2,000件	①入退院支援業務の拡充 ②病棟薬剤師の業務拡大 ③療法士による病棟リハの拡大 ④看護補助者の増員
	病棟薬剤師の業務時間数	31,496時間	38,000時間	35,680時間	38,000時間	
	リハビリテーション提供患者数	37,501人	50,000人	36,036人	50,000人	

## 施策4 患者に優しい病院づくり

取組項目	取組目標名	R3年度 実績値(参考)	R4年度目標値	R4年度 年間想定値	R5年度目標値	令和5年度の主な取組内容
<b>取組項目 患者サービスの向上</b>						
①分かりやすい情報提供	ホームページへのアクセス件数	30万件	14万件	30万件	30万件	①ホームページの内容の充実 ②ライフマークコンシェルジュのプッシュ通知機能を用いた情報発信 ③デジタルサイネージを用いた情報発信
②利用しやすい施設の強化	医療相談センターにおける患者相談窓口の一元化	実施	実施	実施	実施	①医療相談センターにおける患者相談窓口の一元化

## 施策5 地域・社会への貢献

取組項目	取組目標名	R3年度 実績値(参考)	R4年度目標値	R4年度 年間想定値	R5年度目標値	令和5年度の主な取組内容
<b>取組項目 地域・社会への貢献</b>						
①市民に対する医学知識の普及啓発	市民健康講座の開催 (動画版含む)	実施	実施	実施	実施	①川崎市チャンネルへの動画掲載を含む市民健康講座の開催 ②ミニ市民講座の開催 ③かわさきFMを利用した情報発信
	ミニ市民講座の開催	実施	実施	実施	実施	
②環境を意識した病院経営	冷房用熱源設備（スクリーチャー冷凍機）の運用	更新	運用	運用	運用	①冷房用熱源設備（スクリーチャー冷凍機）の運用 ②空調及び熱源設備の機能維持のため、省エネ効果がある部品類の整備交換 ③LED照明への更新継続 ④各部署での省エネチェックシート記入継続（省エネ・節電実施の意識向上を目的）
	省エネ効果がある部品類の整備交換率	30.0%	50.0%	50.0%	50.0%	
	LED照明の導入割合	48.7%	50.0%	49.2%	60.0%	
	省エネチェックシート記入率	90.1%	94.0%	73.0%	95.0%	



## 施策6 強い経営体質への転換

取組項目	取組目標名	R3年度 実績値(参考)	R4年度目標値	R4年度 年間想定値	R5年度目標値	令和5年度の主な取組内容
<b>取組項目(1) 収入確保に向けた取組の推進</b>						
○収入確保に向けた取組の推進	レセプト査定率	0.46%	0.35%	0.35%	0.35%	①医療機能の充実・強化による診療収益の確保 ②精度の高い診療報酬請求 ③未収金催告・督促の強化
	催告・督促総件数	831件	400件	2,000件	400件	
<b>取組項目(2) 経費節減・抑制の強化</b>						
○経費節減・抑制に向けた取組の推進	4病院統一購入による単価・購入価の減額	実施	実施	実施	実施	①適正な在庫管理 ②負担軽減検討のためのワーキンググループの開催
	負担軽減検討のためのワーキンググループの開催	実施	実施	実施	実施	
	業務効率化のための業務可視化・課題の抽出ワークフロー・改善策の作成	実施	実施	実施	実施	
<b>取組項目(3) 経営管理体制の強化</b>						
○経営管理体制の強化に向けた取組の推進	幹部会議を通じた収支状況等の各職員への周知率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	①幹部会議を通じた収支状況等の各職員への周知 ②経営企画会議の開催
	経営企画会議の開催回数	12回	12回	12回	12回	